

かんのんじ うなみ
②6 観音寺(宇波)



たいしょう ねん
大正 14 年 (1925) に
かいき どうしょ かのんどう
開基され、当初は「観音堂」
しょう じょうどしゅうだいえいじ
と 称 して 浄土宗大栄寺
じゅうしょく けんむ
が 住 職 を 兼務 していま



せんご ほんぞん ぎょらんかんのん
したが、戦後に本尊の「魚籃観音」があったといわ
れ とうきょうぎょらんじ そうとうしゅう ふつき こうぜんじ
る 東京魚籃寺の 曹洞宗に 復帰し、 光禅寺の
じゅうしょく けんむ
住 職 が 兼務 されています。

けいだい じぞうどう じぞうそん ふどうみょうおう しょうめん
境内にある地蔵堂には、地蔵尊、不動明王、青面
こんごう せきぞうぶつ しょうわ ねん
金剛の石造物があり、いずれも昭和 35 年 (1960)
おおくぼ せんざ
ごろ大窪から遷座したものとされています。